

○ 毎月 1 日は「少年の日」育て少年心豊かにたくましく

○ 毎月第 3 日曜日は「家庭の日」咲かせよう明るい会話、家族の輪

# 少年センターだより

## “青少年の健全育成のための「大人」としてできること！”

現代社会は、情報化や少子高齢化、働き方改革などさまざまな問題が山積みです。また、子どもたちに関わる痛ましい事件や事故が起こり、子育てに関わる世代は、戸惑いや不安が大きく膨らみます。しかし、現代社会を生きる我々は我々の未来に向かって、進まなければ成りません。先に生きる大人として、子どもたちにどのような姿を見せ、導いていけば良いのでしょうか。その提起となる取組①・取組②を紹介します。

### 取組① 各地区・各校区健全協「非行・事故防止」見守りキャラバン(ココロねっこ運動強調月間活動)

三浦地区	鈴田地区	大村小校区	旭が丘小校区	東大村小校区
				
三城小校区	西大村小校区	中央小校区	萱瀬黒木地区	放虎原小校区
				
富の原小校区	竹松小校区	福重地区	松原地区	
				

各地区・各校区内を健全協の皆さんが巡回し、危険箇所を点検したり安全に下校するように呼びかけたりして見守り活動に取り組みました。集団下校の子どもたちは、「さよなら」「こんにちは」など元気なあいさつができていました。子どもたちに「見守りしているよ、安心してね」というサインを発した活動になりました。

### 取組② おおむら花火大会(二者合同)・夏越しまつり(三者合同)特別補導

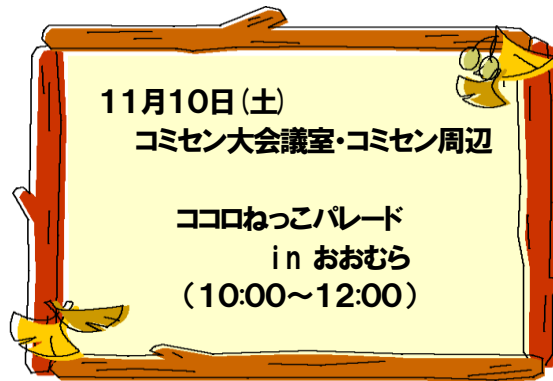
8/1 花火大会・8/28/3 の夏越しまつりでは、警察補導員、市P連、市補導委員のべ 300 人による特別合同補導を実施しました。22 時までには帰宅できなかった子ども達いましたが、補導活動に参加して下さった方々の「遅かけど、気をつけて帰るとよ。」という温かい言葉に「はい。すみません。気をつけます。ありがとうございます。」と答え、帰ったという報告がありました。



3日間22時頃からスタートした補導活動でしたが、たくさんの方々から補導活動にご参加いただきました。確かにルールを破ってしまった子どもたちも多かったかもしれませんが、ミスした子どもを責めるのではなく、大人が寛容に見守り、厳しいひと言だけでなく温かさのある「愛のひと声」をかける活動となりました。



このようなたくさんの方々で取り組む活動だけでなく、大人から子どもたちにあいさつの言葉をかけたり交通事故防止活動をしたりして、「大人がいつも見守っているんだよ。」という姿を見せることが、青少年の健全育成につながるのではないかと考えます。よりよい大村市・社会のために、皆様方それぞれのご協力をお願い致します。



### ＜連載コラム＞

子どもたちの今年の夏休み。「日々の部活や学習で充実した子」「たくさん楽しいことや思い出ができた子」「たくさん遊んで最後に宿題におわられた子」「思いどおりにいかなかった子」等、様々だったと思いますが、それぞれの「あつという間の夏休み」が間もなく終わります。

ところで、子どもたちの生活リズムはいかがでしょう？寝る時間と起きる時間がだんだん遅くなってきているのではないのでしょうか。

「夜更かしや朝寝坊などの生活習慣の乱れは、子どもの成長に悪い影響を与えかねない。一日の体温の変化やホルモン分泌のリズムなどを崩してしまうことがある。すると、寝不足になり、その結果、疲労感が増し、日中の食欲や集中力が落ちてしまう。無気力になったり、おこりっぽくなったりすることもある。」

さらには、「時差ぼけのような状態になり、体調不良につながることもある。」といます。日中の気温は、まだまだ30度を越えています。これまでの自宅の快適な生活と大きなギャップが生じ、体調不良にもつながりかねません。まずは、「就寝・起床・食事・排泄等の時間」を速やかにもとに戻すことが、とても大切なことだと思います。

「(吉田)松陰は、人はどんな人でも真実な人生を生きるために学問・勉学をすべきであるとの主張に立っていましたが、その主張は、天が各人すべてに授けた『天性』を確信し、それを尊重することに基づいていました。(中略)松陰は、また、この天性を純金にたとえ、人は誰でもその内面に天性の純金を含んだ金の鉱石のようだと説いています。人は誰でも、尊ばれねばならないのは、それがただの石ころではなく内面に純金を含んだ金の鉱石だからです。【岩橋文吉氏】」

このように、人には、学問であったり、心の面であったり、運動の面であったり、造形の面であったり、芸術の面であったり、その人なりのさまざまな「天性」がきっと秘められているはずですが、その天性は磨かなければ光りません。

いよいよ「前期後半」、「2学期」、あるいは「収穫の秋」のスタートです。子どもたちが、身も心もリセットし、「明日の自分」のために、あきらめることなく、一日一日を大切に、日々たゆまぬ「自分磨き」に邁進してくれることを心から期待したいと思います。

＜ひびく・I＞

青少年に関する相談は少年センターへ

☆Eメール: [kiitekudasai@city.omura.lg.jp](mailto:kiitekudasai@city.omura.lg.jp) ☆フリーダイヤル: 0800-200-2001

